

アジア・ハイ・イールド債券 ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月14日から2021年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②当ファンドは、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。	
主要投資対象	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
主な組入制限	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

第76期（決算日	2018年3月12日）
第77期（決算日	2018年4月10日）
第78期（決算日	2018年5月10日）
第79期（決算日	2018年6月11日）
第80期（決算日	2018年7月10日）
第81期（決算日	2018年8月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース」はこのたび第81期決算を行いましたので、第76期～第81期中の運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
 （受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資比率	信託組入率	純資産額
		(分配落)	税金配	込金期騰落			
第10作成期	52期 (2016年3月10日)	円 6,518		円 150	% 1.6	% 95.6	百万円 1,718
	53期 (2016年4月11日)	6,414		80	△0.4	95.0	1,674
	54期 (2016年5月10日)	6,335		80	0.0	97.0	1,462
	55期 (2016年6月10日)	6,380		80	2.0	96.9	1,390
	56期 (2016年7月11日)	6,108		80	△3.0	97.5	1,278
	57期 (2016年8月10日)	6,348		80	5.2	98.5	1,278
第11作成期	58期 (2016年9月12日)	6,272		80	0.1	97.0	1,244
	59期 (2016年10月11日)	6,346		80	2.5	98.3	1,239
	60期 (2016年11月10日)	6,295		80	0.5	96.8	1,160
	61期 (2016年12月12日)	6,658		80	7.0	97.1	1,196
	62期 (2017年1月10日)	6,676		80	1.5	98.8	1,109
	63期 (2017年2月10日)	6,617		80	0.3	96.6	1,100
第12作成期	64期 (2017年3月10日)	6,627		80	1.4	98.1	1,084
	65期 (2017年4月10日)	6,440		80	△1.6	98.3	1,031
	66期 (2017年5月10日)	6,622		80	4.1	98.0	1,039
	67期 (2017年6月12日)	6,421		80	△1.8	98.0	985
	68期 (2017年7月10日)	6,471		80	2.0	98.6	986
	69期 (2017年8月10日)	6,473		60	1.0	97.6	971
第13作成期	70期 (2017年9月11日)	6,425		60	0.2	97.3	939
	71期 (2017年10月10日)	6,412		60	0.7	97.1	916
	72期 (2017年11月10日)	6,378		60	0.4	96.8	878
	73期 (2017年12月11日)	6,344		60	0.4	97.4	833
	74期 (2018年1月10日)	6,488		60	3.2	95.7	842
	75期 (2018年2月13日)	6,174		60	△3.9	97.0	787
第14作成期	76期 (2018年3月12日)	6,057		60	△0.9	96.6	755
	77期 (2018年4月10日)	5,867		60	△2.1	98.2	717
	78期 (2018年5月10日)	5,641		60	△2.8	98.2	674
	79期 (2018年6月11日)	5,434		60	△2.6	96.9	628
	80期 (2018年7月10日)	5,226		60	△2.7	98.2	582
	81期 (2018年8月10日)	5,179		60	0.2	97.2	568

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注4) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

■第76期～第81期の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 率
			騰 落 率	率	
第76期	(期 首) 2018年2月13日	円	6,174	%	97.0
	2月末		6,165	△0.1	97.1
	(期 末) 2018年3月12日		6,117	△0.9	96.6
第77期	(期 首) 2018年3月12日		6,057	—	96.6
	3月末		5,925	△2.2	98.5
	(期 末) 2018年4月10日		5,927	△2.1	98.2
第78期	(期 首) 2018年4月10日		5,867	—	98.2
	4月末		5,848	△0.3	98.4
	(期 末) 2018年5月10日		5,701	△2.8	98.2
第79期	(期 首) 2018年5月10日		5,641	—	98.2
	5月末		5,559	△1.5	98.5
	(期 末) 2018年6月11日		5,494	△2.6	96.9
第80期	(期 首) 2018年6月11日		5,434	—	96.9
	6月末		5,303	△2.4	98.3
	(期 末) 2018年7月10日		5,286	△2.7	98.2
第81期	(期 首) 2018年7月10日		5,226	—	98.2
	7月末		5,310	1.6	97.3
	(期 末) 2018年8月10日		5,239	0.2	97.2

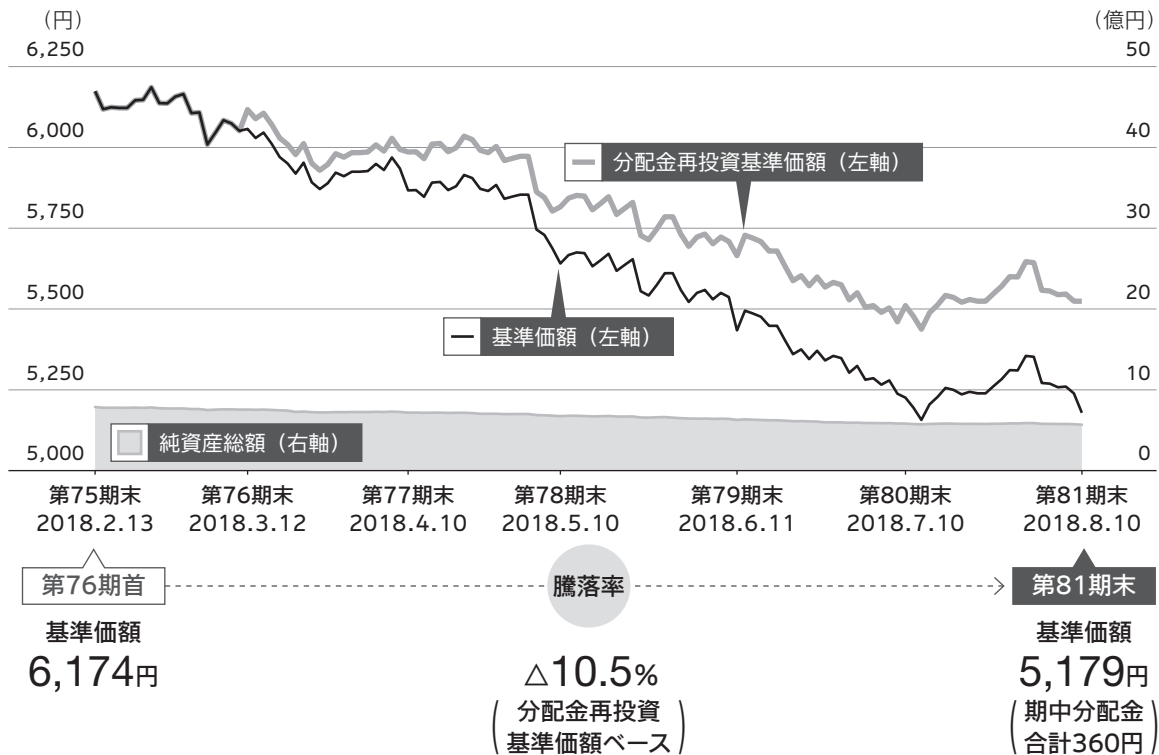
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注3) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年2月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」は、債券部分、為替部分ともにマイナスに寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はマイナスとなりました。

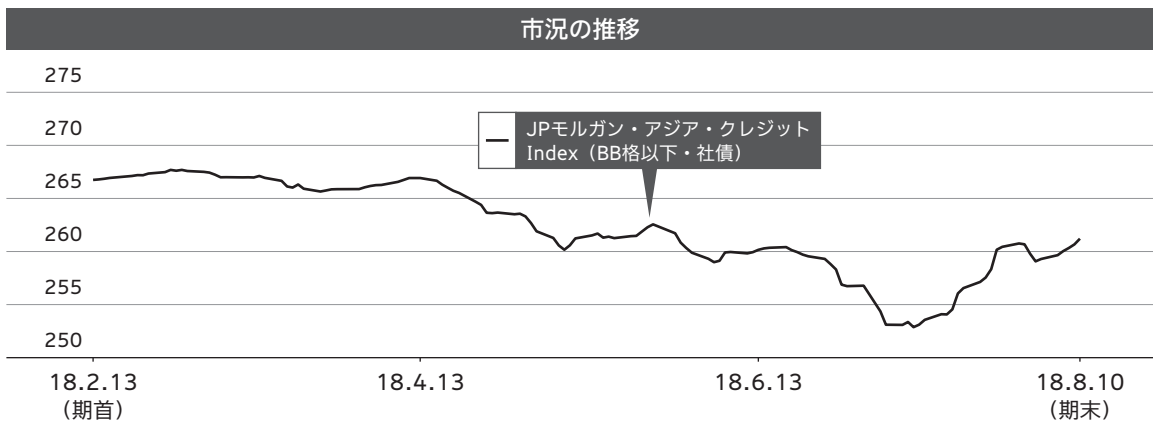
- 本報告書では、ベビーファンドとファンド・オブ・ファンズを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  ファンド・オブ・ファンズ

● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。

米国の金利上昇等を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まる中、期初から緩やかな下落基調が続きました。米中貿易摩擦の激化に対する警戒感が強まったことに加えて、FRB（米連邦準備理事会）の利上げペースが加速するとの観測が広がり、米国10年国債利回りが3%を上回る水準まで上昇したこと等を受けて、アジア・ハイ・イールド債券市場はさらに下落する展開となりました。7月に入ると、世界的な貿易戦争激化への警戒感が後退し、新興国市場への資金回帰が進んだことから、アジア・ハイ・イールド債券市場は期末にかけて上昇しました。

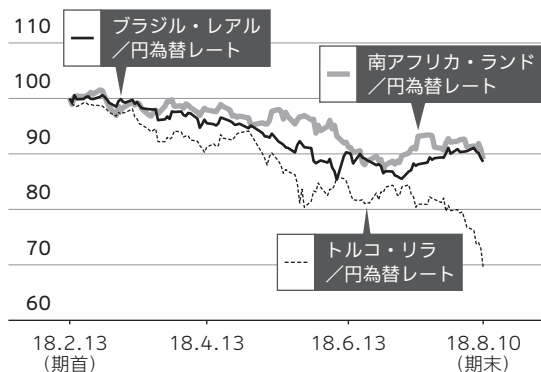


(出所：Bloomberg)

当期の為替市場は、米国の利上げペースが加速するとの観測が強まり、米国金利が上昇する中、3月下旬以降、円安ドル高基調が続きました。米中貿易摩擦の激化に対する警戒感や米国金利の上昇等を背景に新興国通貨が軟調な推移となる中、アジア通貨および高金利通貨は、いずれも対円で下落しました。

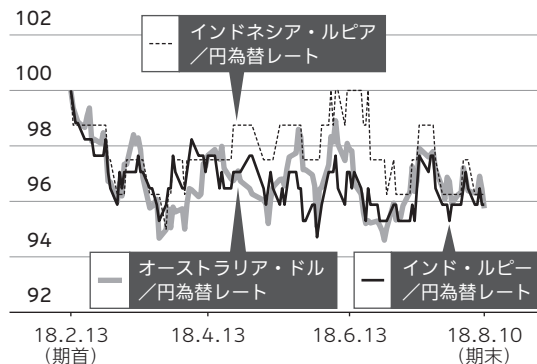
為替レートの推移

(高金利通貨)



出所：(ブラジルレアル・トルコリラ)投資信託協会
(南アフリカランド)Bloomberg

(アジア・オセアニア)



(出所：Bloomberg)

注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが上昇（価格は下落）し、スプレッドも拡大したことから、債券部分はマイナスに寄与しました。

トルコリラ、ブラジルレアル、南アフリカランドがいずれも対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが上昇（価格は下落）し、スプレッドも拡大したことから、債券部分はマイナスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルがいずれも対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計360円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2018.2.14 } 2018.3.12	2018.3.13 } 2018.4.10	2018.4.11 } 2018.5.10	2018.5.11 } 2018.6.11	2018.6.12 } 2018.7.10	2018.7.11 } 2018.8.10
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	0.98%	1.01%	1.05%	1.09%	1.14%	1.15%
当期の収益	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,336	7,349	7,363	7,377	7,393	7,407

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

足元、アジア・ハイ・イールド市場は上昇に転じましたが、引き続き米中貿易戦争の激化等が市場の懸念材料となっており、当面は変動性の高い相場展開が続く見込みです。アジア各国の経済環境は引き続き良好な状況が続いており、企業の財務基盤も健全な状況にあることから、中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を予想しており、アジア・ハイ・イールド債券市場への旺盛な投資需要は今後も継続する見込みです。運用においては、市場動向を注視しながら引き続きクレジットの質を重視した運用を継続する方針です。

● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は **0.483%** です。

項目	第76期～第81期 2018.2.14～2018.8.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.482%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,681円です。
（投信会社）	(10)	(0.183)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.283)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b)その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	27	0.483	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況

○ 投資信託証券

(2018年2月14日から2018年8月10日まで)

		第 76 期 ~ 第 81 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)		千口	千円	千口	千円
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	—	—	122.04658	29,000
		(—)	(—)	(—)	(—)
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	—	—	146.59998	54,000
		(—)	(—)	(—)	(—)

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況 (2018年2月14日から2018年8月10日まで)

当ファンドにおける第76期～第81期中の利害関係人との取引はございません。

■ 組入資産の明細

○ 投資信託証券 (邦貨建)

(2018年8月10日現在)

銘 柄	期首(第75期末)		第 81 期 末		
	口 数	金 額	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	千口	千円	%
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	1,494.89085	—	1,372.84427	272,440	48.0
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	941.24271	—	794.64273	279,424	49.2
合 計	口 数、金 額	2,436.13356	2,167.487	551,865	—
	銘 柄 数 <比 率>	2銘柄<97.0%>	2銘柄<97.2%>	—	—

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2018年8月10日現在)

項 目	第 81 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 証 券	千円	%
	551,865	95.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,459	4.2
投 資 信 託 財 産 総 額	576,325	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月12日現在) (2018年4月10日現在) (2018年5月10日現在) (2018年6月11日現在) (2018年7月10日現在) (2018年8月10日現在)

項目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
a 資産	764,146,687円	725,984,213円	683,146,579円	637,452,310円	590,320,837円	576,325,394円
コール・ローン等	33,957,982	20,965,361	20,782,581	28,778,983	18,736,147	24,459,458
投資信託証券(評価額)	730,188,705	705,018,852	662,363,998	608,673,327	571,584,690	551,865,936
b 負債	8,501,850	8,266,681	8,606,750	9,189,326	8,084,157	8,307,380
未払収益分配金	7,485,844	7,340,285	7,175,136	6,937,632	6,684,895	6,580,526
未払解約金	449,740	345,432	853,100	1,674,915	919,571	1,236,488
未払信託報酬	565,046	578,043	576,394	575,119	478,270	489,195
その他未払費用	1,220	2,921	2,120	1,660	1,421	1,171
c 純資産総額(a-b)	755,644,837	717,717,532	674,539,829	628,262,984	582,236,680	568,018,014
元本	1,247,640,728	1,223,380,850	1,195,856,143	1,156,272,105	1,114,149,245	1,096,754,348
次期繰越損益金	△ 491,995,891	△ 505,663,318	△ 521,316,314	△ 528,009,121	△ 531,912,565	△ 528,736,334
d 受益権総口数	1,247,640,728口	1,223,380,850口	1,195,856,143口	1,156,272,105口	1,114,149,245口	1,096,754,348口
1万口当たり基準価額(c/d)	6,057円	5,867円	5,641円	5,434円	5,226円	5,179円

(注1) 期末における1口当たりの純資産総額

第76期0.6057円、第77期0.5867円、第78期0.5641円、第79期0.5434円、第80期0.5226円、第81期0.5179円

(注2) 期末における元本の欠損金額

第76期491,995,891円、第77期505,663,318円、第78期521,316,314円、第79期528,009,121円、第80期531,912,565円、第81期528,736,334円

■損益の状況

自2018年2月14日
至2018年3月12日

自2018年3月13日
至2018年4月10日

自2018年4月11日
至2018年5月10日

自2018年5月11日
至2018年6月11日

自2018年6月12日
至2018年7月10日

自2018年7月11日
至2018年8月10日

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
a 配当等収益	10,932,908円	9,499,253円	9,342,775円	8,994,871円	8,871,175円	8,663,479円
受取配当金	10,934,729	9,499,346	9,343,503	8,995,820	8,872,468	8,664,630
受取利息	12	—	3	17	19	7
支払利息	△ 1,833	△ 93	△ 731	△ 966	△ 1,312	△ 1,158
b 有価証券売買損益	△ 17,641,961	△ 24,847,000	△ 28,669,901	△ 25,501,025	△ 24,908,076	△ 6,770,686
売買益	181,631	317,607	100,428	296,631	235,495	2,025,134
売買損	△ 17,823,592	△ 25,164,607	△ 28,770,329	△ 25,797,656	△ 25,143,571	△ 8,795,820
c 信託報酬等	△ 566,266	△ 580,964	△ 578,188	△ 576,779	△ 479,401	△ 490,366
d 当期損益金(a+b+c)	△ 7,275,319	△ 15,928,711	△ 19,905,314	△ 17,082,933	△ 16,516,302	1,402,427
e 前期繰越損益金	△ 421,382,958	△ 426,589,704	△ 438,623,004	△ 448,650,871	△ 454,170,564	△ 467,504,199
f 追加信託差損益金	△ 55,851,770	△ 55,804,618	△ 55,612,860	△ 55,337,685	△ 54,540,804	△ 56,054,036
(配当等相当額)	(692,005,434)	(679,076,662)	(664,318,840)	(643,057,685)	(620,170,422)	(611,502,417)
(売買損益相当額)	(△ 747,857,204)	(△ 734,881,280)	(△ 719,931,700)	(△ 698,395,370)	(△ 674,711,226)	(△ 667,556,453)
g 合計(d+e+f)	△ 484,510,047	△ 498,323,033	△ 514,141,178	△ 521,071,489	△ 525,227,670	△ 522,155,808
h 収益分配金	△ 7,485,844	△ 7,340,285	△ 7,175,136	△ 6,937,632	△ 6,684,895	△ 6,580,526
次期繰越損益金(g+h)	△ 491,995,891	△ 505,663,318	△ 521,316,314	△ 528,009,121	△ 531,912,565	△ 528,736,334
追加信託差損益金	△ 55,851,770	△ 55,804,618	△ 55,612,860	△ 55,337,685	△ 54,540,804	△ 56,054,036
(配当等相当額)	(692,005,434)	(679,076,662)	(664,318,840)	(643,057,685)	(620,170,422)	(611,502,417)
(売買損益相当額)	(△ 747,857,204)	(△ 734,881,280)	(△ 719,931,700)	(△ 698,395,370)	(△ 674,711,226)	(△ 667,556,453)
分配準備積立金	223,333,151	220,092,488	216,264,430	209,932,644	203,524,363	200,961,151
繰越損益金	△ 659,477,272	△ 669,951,188	△ 681,967,884	△ 682,604,080	△ 680,896,124	△ 673,643,449

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注記事項（第76期～第81期）

第76期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,275,688,525円
期中追加設定元本額	2,562,602円
期中一部解約元本額	30,610,399円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（10,366,642円）、収益調整金（692,005,434円）及び分配準備積立金（220,452,353円）を対象収益（922,824,429円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から7,485,844円（1万円当たり60円）を分配に充てることに決定しました。

第77期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,247,640,728円
期中追加設定元本額	2,978,391円
期中一部解約元本額	27,238,269円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（8,918,289円）、収益調整金（679,076,662円）及び分配準備積立金（218,514,484円）を対象収益（906,509,435円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から7,340,285円（1万円当たり60円）を分配に充てることに決定しました。

第78期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,223,380,850円
期中追加設定元本額	2,939,894円
期中一部解約元本額	30,464,601円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（8,764,587円）、収益調整金（664,318,840円）及び分配準備積立金（214,674,979円）を対象収益（887,758,406円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から7,175,136円（1万円当たり60円）を分配に充てることに決定しました。

第79期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,195,856,143円
期中追加設定元本額	4,148,954円
期中一部解約元本額	43,732,992円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（8,418,092円）、収益調整金（643,057,685円）及び分配準備積立金（208,452,184円）を対象収益（859,927,961円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から6,937,632円（1万円当たり60円）を分配に充てることに決定しました。

第80期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,156,272,105円
期中追加設定元本額	3,050,273円
期中一部解約元本額	45,173,133円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（8,391,774円）、収益調整金（620,170,422円）及び分配準備積立金（201,817,484円）を対象収益（830,379,680円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から6,684,895円（1万円当たり60円）を分配に充てることに決定しました。

第81期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,114,149,245円
期中追加設定元本額	5,606,289円
期中一部解約元本額	23,001,186円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（8,173,113円）、収益調整金（611,502,417円）及び分配準備積立金（199,368,564円）を対象収益（819,044,094円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から6,580,526円（1万円当たり60円）を分配に充てることに決定しました。

■分配金のお知らせ

	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
1万口当たり分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

<分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3））</p> <p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4））</p>	
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）	
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。</p> <p>②原則として以下の通貨で為替取引（対米ドル等）を行います。</p>	
	高金利通貨 アジア・オセアニア	クラス3 クラス4
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券への投資は行いません。</p>	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%</p> <p>※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。</p> <p>※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■包括利益計算書

(2017年1月1日から2017年12月31日まで)
アメリカドル

収益		
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)		38,331,806
為替差損益		△ 75,097
その他収益		—
収益合計		<u>38,256,709</u>
費用		
支払利息		△ 276
投資運用報酬		△ 2,163,184
投資運用報酬 払戻料		161,362
管理報酬		△ 126,420
監査報酬		△ 46,872
保管報酬		△ 50,477
名義書換費用		△ 17,628
取引費用		△ 8,273
受託者報酬		△ 28,093
その他営業費用		△ 84,739
営業費用合計		<u>△ 2,364,600</u>
税引前・分配前利益 (損失)		35,892,109
税金		—
税引後・分配前利益 (損失)		35,892,109
分配金		△43,658,222
税引後・分配後利益 (損失)		<u>△ 7,766,113</u>
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少		<u>△ 7,766,113</u>

投資信託証券「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表の一部を委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

■組入上位銘柄

(2017年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
Kwg Property Holding Limited 8.975% 14-jan-2019	中国	8.975%	2019/01/14	2.5%
Huachen Energy Co. Ltd. 6.625% 18-may-2020	中国	6.625%	2020/05/18	2.3%
Shui On Development (holding) Ltd. 9.625% 10-jun-2019	中国	9.625%	2019/06/10	2.3%
China See Property Holdings Ltd. 10.0% 02-jul-2020	中国	10.000%	2020/07/02	2.2%
Macquarie Bank Limited 6.125% Perp	オーストラリア	6.125%	永久債	2.1%
Chong Hing Bank Limited 6.5% Perp	中国	6.500%	永久債	2.1%
Golden Legacy Pte Ltd. 8.25% 07-jun-2021	インドネシア	8.250%	2021/06/07	2.1%
Pb International Bv 7.625% 26-jan-2022	インドネシア	7.625%	2022/01/26	2.0%
China Evergrande Group 8.75% 28-jun-2025	中国	8.750%	2025/06/28	2.0%
Country Garden Holdings Co. Ltd. 7.25% 04-apr-2021	中国	7.250%	2021/04/04	1.9%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。